

ノンフィクション
ご担当者様

9月12日刊行 新刊のご案内

生きるも地獄、死ぬるも地獄、それでも生きる —アスベスト遺族の物語—

いつも大変お世話になっております。アスベスト遺族の在宅看取りの記録が誕生いたしました。
ご発注をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



【概要】

夫を死に至らせたのは、仕事もたらした病、悪性胸膜中皮腫だった。配管工として六十年近く現場一筋だった夫は、長い年月のなかでアスベスト（石綿）を吸い続けていた。病名がわかったとき、治療はもう難しいと告げられる。

著者は、夫の「病院はいやや」という言葉を聞き、心を決めた。住み慣れた家で、家族とともに最期の時間を過ごす。そこから、一年六か月の日々が始まった。

涙ばかりの日々ではなかった。手をにぎり、笑い、孫の声に救われる瞬間が、たしかにあった。最期の日、夫は子どもと孫たちに囲まれて息を引きとった。病院では叶えられなかった、自分らしい時間だった。原爆投下の翌日、広島町の町に救援に入った祖父が繰り返していた言葉がある。「和美、生きるも地獄、死ぬるも地獄や」

——それでも、生きる。

本書は、アスベスト被害の現実、労災認定までの道のり、家族で見送る時間の尊さを、介護日記を軸に綴った記録です。

いま誰かを看ている人、大切な人をどこで見送るか迷っている人に、ひとつの家族の答えを届けます。

【定価】1600円（税別）【仕様】四六判・並製 224ページ

【目次】はじめに / 第一章 アスベストという時限爆弾 / 第二章 出会いから支えあう人へ / 第三章 百年前からの警告 / 第四章 介護日記が始まる日 / 第五章 十月十八日、二時四十三分 / 第六章 「和美、安心せえ」 / おわりに

■ 著者

沖 和美（おき かずみ） 1950年兵庫県生まれ。宝塚市在住。事務職で23年。会社倒産のため、60歳から介護職に就き、途中介護福祉士資格をとる。夫がアスベストによる悪性胸膜中皮腫を患い、家族とともに自宅で看取った。その経験を通して、アスベスト被害の現実と在宅看取りについて、広く訴えたいと願っている。

申込書	貴店名・帳合		生きるも地獄、死ぬるも地獄 それでも生きる アスベスト遺族の物語 中川和美 著 定価 1600円（税別） ISBN 978-4-910233-32-1 C0095
		部	

発行・発売 株式会社めでいあ森

102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 リソナ九段ビル 5F TEL 03-6869-3426

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

JRC 経由で全ての取次店への出荷が可能です。TEL 03-5283-2230
注文扱いでも返本フリーです。